

国道 50 号線の全線 4 車線化の促進について（継続）

国道 50 号線の整備は地域経済波及効果が大きく、物流の効率化はもとより交通渋滞の緩和、環境の改善などをもたらすものであります。

本路線はみどり市笠懸町～前橋市を結ぶバイパス建設計画も進み平成 16 年度にはルート原案が示され、さらに平成 19 年 1 月 30 日には都市計画決定の告示が行われております。平成 20 年 7 月 30 日にはみどり市にて地元説明会も開かれ、用地買収など事業が始動しておりますが、地域の産業、経済、文化など社会の全分野にわたり極めて大きな影響と効果が期待されておりますので、引き続き桐生以西の全線 4 車線化の早期実現を強く要望いたします。

【桐生市からの回答】

国道 50 号前橋笠懸道路につきましては、所管する国土交通省高崎河川国道事務所において、平成 20 年度から事業着手されました。平成 25 年度には、みどり市笠懸町鹿交差点から約 500m 区間の道路拡幅整備が完成し、平成 30 年度は、14 億 2,800 万円の予算が配分され、前橋市今井町から前橋市二之宮町間の現道拡幅区間において調査設計、環境調査、用地買収、埋蔵文化財調査を推進し、城南公民館前の歩道橋工事に着手する予定であり、また、伊勢崎市赤堀今井町から伊勢崎市香林町のバイパス区間においては、調査設計、環境調査、用地買収、埋蔵文化財調査が推進される予定と聞いております。

本市は、「国道 50 号バイパス建設促進期成同盟会」の事務局として、関係する群馬・栃木両県の 9 市で連携し、前橋笠懸道路の早期完成に向けて引き続き国土交通省をはじめ関係機関に対し整備促進の要望活動を展開してまいりたいと考えております。

【回答担当】都市整備部都市計画課庶務係